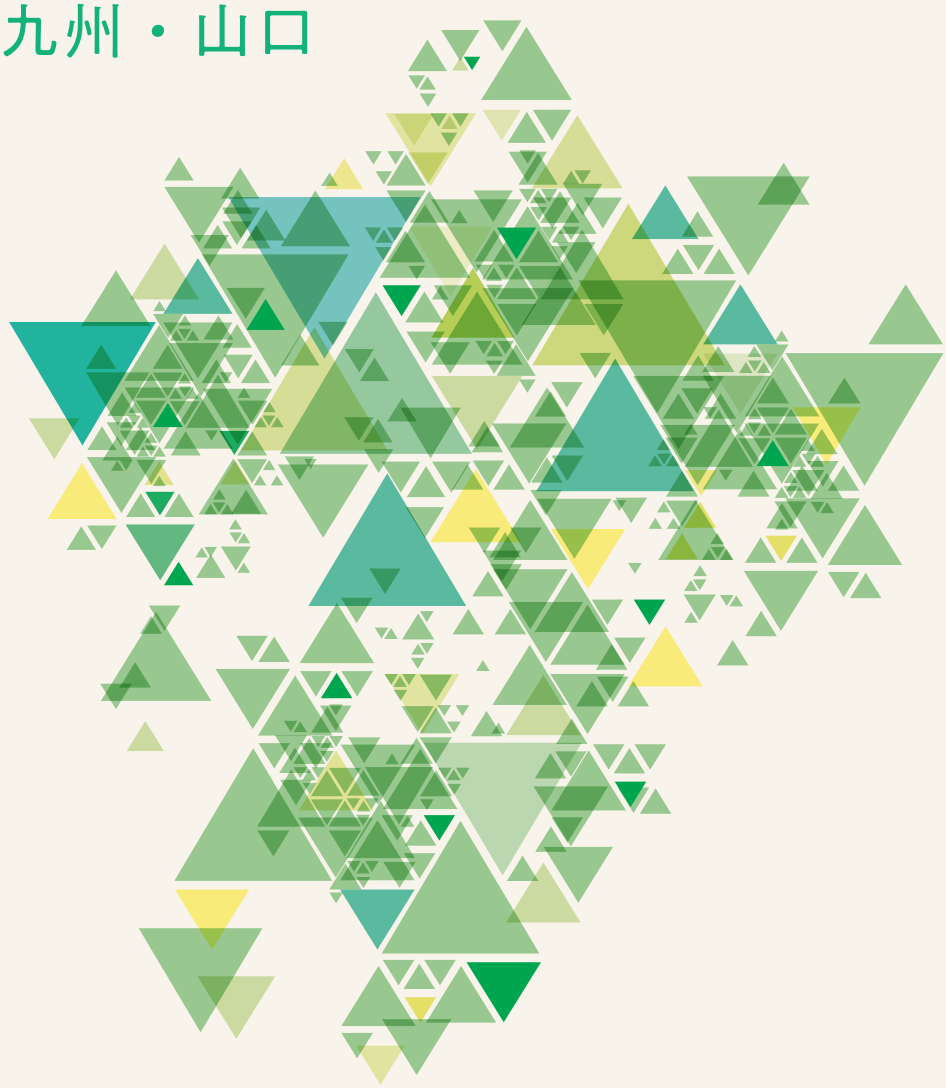
2023年7月1日発行/年4回発行 四季報第2号（通巻第742号）

2023年
夏号

九経連 四季報

あすの九州・山口



巻頭言 時代の変化や将来を見据え、九州の安全・安心、発展を支える

藤巻 浩之〔国土交通省 九州地方整備局長〕

特　集 いよいよ10月開催！「マイナビ ツール・ド・九州2023」

農業の担い手不足の解消と農的関係人口の拡大を目指して
～副業等を活用した地域企業による農業労働力支援の取り組みを推進～

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

九経連 四季報

あすの九州・山口

| 2023年 夏号 |

巻頭言

時代の変化や将来を見据え、九州の安全・安心、発展を支える
藤巻 浩之〔国土交通省　九州地方整備局長〕 …… 1

特集

いよいよ10月開催！「マイナビ ツール・ド・九州2023」 …… 2

農業の担い手不足の解消と農的関係人口の拡大を目指して
～副業等を活用した地域企業による農業労働力支援の取り組みを推進～ …… 12

お知らせ

新たな役員体制がスタート …… 15

会員紹介

UBE三菱セメント株式会社 …… 16
北九州高速鉄道株式会社 …… 16
株式会社ビッグ フィッシング …… 17
株式会社日本設計 …… 17

地域だより …… 18

新入会員情報 …… 21

春の叙勲・褒章受章者 …… 23

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

巻頭言

藤巻 浩之　〔国土交通省　九州地方整備局長〕

時代の変化や将来を見据え、九州の安全・安心、発展を支える



九州はさまざまな山海の幸に恵まれた自然豊かな地域である一方、地形・地質・気象などの自然条件から多様な災害リスクを抱えています。近年では球磨川流域における令和２年７月豪雨、九州北部における令和３年８月の前線停滞、記録的な勢力を保ったまま九州に上陸した昨年の台風第14号による災害など、気候変動の影響が目に見えて現れています。

このため、気候変動の適応策となる治水対策の強化は急務です。「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を着実に進め、流域のあらゆる関係者が連携して防災・減災に取り組む「流域治水」を推進しています。また、気候変動の緩和策となる再生可能エネルギーの利用促進に向け、一般海域における洋上風力の促進や港湾でのカーボンニュートラルなど脱炭素社会実現に向けた取り組みも推進しています。

雪に不慣れな九州において、今年１月の記録的な寒波では、長崎県管理の国道207号で約200台の車両が立ち往生する事態となり、九州地方整備局の緊急災害対策派遣隊（TEC－FORCE）が急遽、放置車両の移動、早期の交通開放を支援しました。引き続き、さまざまな災害への対応力・支援力の強化に努めます。

また、「九州の南北・東西軸をつなぐ『クロス』から、クロスを中心にリングで新たに連結する『リング』へ」をコンセプトに、今後とも、九州内主要都市や空港・港湾・主要鉄道駅等の交通拠点をつなぐ広域道路ネットワークを形成・強化します。

老朽化が進む道路施設への対応としては、昨年４月に九州道路メンテナンスセンターを設置し、直轄国道における橋梁等の診断等を進めています。さらに、これまで得られた専門的な技術力や知見、経験を活かし、地方自治体が管理する道路構造物の保全に関する相談を受け、技術支援等を積極的に行っています。

また、建設分野の生産性向上に向けては、従来のi-Constructionによる働き方改革をさらに拡大しています。九州の地域特性に特化したDXを実現するため「九州インフラDXアクションプラン」を昨年８月に策定し、令和５年をDXの「躍進の年」と位置付け、メタバースの活用や災害調査のデジタル化、UAVやAIの利活用などのデジタル技術を積極的に活用し、さまざまな分野で産・学とも連携した改革を目指します。

建設産業は「地域の守り手」として、災害後の復旧・復興を担う地域にとって欠かすことのできない産業分野であり、若者が将来に希望を持って働き続けることができる業界となることが大変重要です。地域の建設産業の維持・発展に向け「新・担い手３法」に基づく週休２日をはじめとする「働き方改革」や工事におけるICT活用などによる「生産性向上」をさらに推進していきます。

今後とも、九州ひいては我が国の持続的な発展に向け、恵まれた地理的環境を活かしたゲートウェイ機能と安全で安心な地域社会を支える社会資本の整備・管理を推進する所存です。

いよいよ10月開催！「マイナビ ツール・ド・九州2023」



はじめに

いよいよ本年10月、九州各地を駆け抜ける新たなステージレース「マイナビ ツール・ド・九州2023」が始まります。本大会は、ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承、九州のサイクルスポーツの普及拡大、世界に誇れる自然や風景を発信することによる地域ブランディングへの貢献などに大きな期待が寄せられています。本大会がこうした期待に応えるとともに、地域の持続可能な開発目標に資するイベントとなるよう、九州の経済界と行政がともに協力・連携しながら大会づくりを進めています。本稿では、「ツール・ド・九州」について詳しくお伝えいたします。

「ツール・ド・九州」とは

国際自転車競技連合（UCI）公認のサイクルロードレースであり、大自然の中、公道を使用して九州各県を巡る、日本屈指の規模となる自転車ステージレースです。

2023年に記念すべき第１回を迎え、10月６日（金）から９日（月・祝）までの４日間にわたり、福岡・北九州をスタートし、熊本の阿蘇エリア、大分の日田エリアの全総走行距離約400km超となるロードレースを展開する予定です。

単なるスポーツイベントにとどまらず、九州ならではの大自然や文化を国内外に向けて発信し、九州の災害からの復興と、進むべき未来像を示す、唯一無二のイベントとして開催いたします。

また、カーボンニュートラルを意識した環境負荷が少ない運営や、自然環境への配慮、九州の豊富な水資源の活用と保護等、持続可能な九州の未来のためにSDGs活動を実現する大会とし、単なるサイクルレースの域を脱した未来志向のイベントを目指しています。

「ツール・ド・九州」開催の経緯

ツール・ド・九州2023実行委員会は、九経連会長が会長を務め、開催県の知事が副会長として参画する、まさに産官民が一体となって開催される大型プロジェクトです。



イベントの検討経緯

2019年11月
ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承およびサイクルツーリズムの推進を目的とした国際サイクルイベントの開催について、九州地域戦略会議において議論を開始

2020年５月
同会議のもとに、検討委員会（九州・沖縄・山口各県および経済団体の実務者で構成）を設置し、イベントのコンセプトや概要の検討を開始

2020年10月
検討委員会における検討結果を受けて、同会議において①国際サイクルレースと②サイクリング周遊型旅行商品の併催により2023年に第1回の開催を目指すことを決定

2022年３月
（一社）九州経済連合会と（一社）九州自転車競技連盟は、国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」の準備・運営を担う本実行委員会の事務局として、新法人「一般社団法人ツール・ド・九州」を設立

「ツール・ド・九州」が目指すこと

ツール・ド・九州は、環境に配慮した運営を行うとともに、先端技術を使ったDX化の取り組み、地方を元気にする地産地消型の取り組み等、九州の未来を創る取り組みを発信してまいります。

また、一般社団法人ツール・ド・九州は、UCI気候行動憲章の世界80の創設時署名団体の一つとしてコミットメントに署名し、自転車競技を通じてSDGsの実現に貢献してまいります。

Make Kyushu Sustainable～九州の持続可能な未来のために～

地域貢献・復興

- 交流人口の拡大
- 九州の魅力発信⇒観光復興・災害復興
- 食材や地域産品の地産地消
- 雇用の促進
- 地域間連携の推進
- 子どもたちへの教育
  SDGs、国際交流、スポーツ普及・・・





環境

- カーボンニュートラルの実現
  クリーンエネルギーの最大活用
  大会公式車両の脱炭素化
- 地域水資源の活用・保護
- プラスチックごみの抑制





健康

- サイクルスポーツの普及
- 自転車活用推進計画の啓蒙

先端技術の実証

- DXによる事業推進
  5Gテクノロジーの活用
  VRテクノロジーの活用
- 企業団体のイノベーション実証

一言で表現すると、個人競技だがチーム戦

100名を超える選手たちが一斉にスタートして、誰がいち早くゴールにたどり着くかを競うシンプルな個人競技です。ただ、実際には各チームが自チームの中で一番力のある選手が勝利することを目的としたチーム戦になっています。

サイクルロードレースにおいては、「空気抵抗」が大きな負担となって選手を苦しめます。そのため、エース以外の選手たちが、隊列を組んでエースの前を走って空気抵抗を減らしながら進み、ゴール直前までいかにエースに力を温存させるかが勝利のカギになっています。

そして、力を温存してきたエースがゴール前で全力を出してチームの勝利を狙うのです。いつエースが仕掛けて前を走り出すかなど、他チームとの駆け引きがサイクルロードレースの見どころとなっています。ルール上では個人競技、しかし実態はチーム戦というのがこの競技の大きな特徴といえます。

サイクルロードレースにおける成績の価値基準は「自分のチームから優勝者を出すこと、もしくはそこに近い順位を獲得すること」であり、１チーム６名で参加し、チームから優勝者が出れば他の５名がその勝者をサポートする過程でリタイアしても、そのチームの評価は最高ランクのものとなります。

逆に、６名全員がレースを完走しても、チームの最高成績の選手が下位であれば、そのチームの評価は低いものとなってしまいます。



写真提供：OITA サイクルフェス実行委員会

サイクルロードレースの魅力

・エースを勝たせるための究極の団体競技です。アシストの選手の献身的な働きに熱いドラマがあります。
・走る選手だけでなく壮大な景色が楽しめます。美しい風景をたくさん映していきます。
・選手との距離感の近さがあります。公道が競技場になることで、より近くで選手を応援することができます。

個人賞争いもレースの見どころ

〇スプリントポイント

コース途中の平坦な直線に設定する中間ゴールの着順でポイントが与えられ、ステージレース合計得点でスプリント賞を決定する。
平地でのスピード力が高いスプリンター向けの賞。



〇山岳賞ポイント

峠の頂点など、坂を上り切った地点の着順でポイントが与えられ、ステージレース合計得点で山岳賞（ＫＯＭ：King of mountain）を決定する。上り坂が得意なクライマー向けの賞。上り坂では選手のスピードが落ちるため、選手を鼓舞する絶好の応援ポイントとなる。

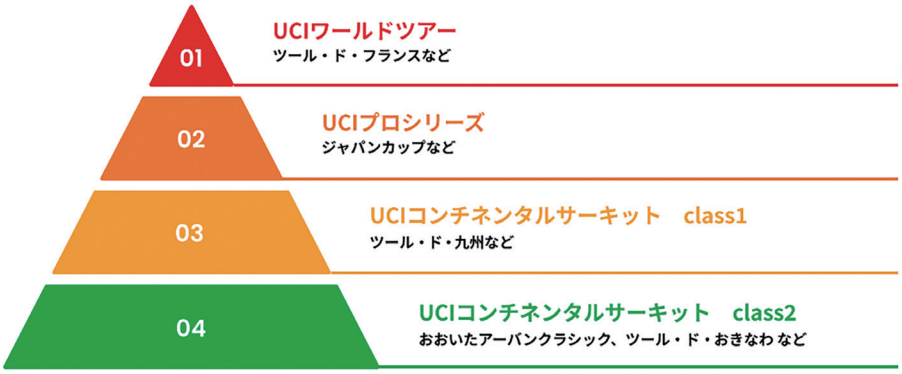


UCI公認レースとは

UCI（国際自転車競技連合）とは、自転車競技の国際競技団体のことです。UCI公認レースになることで、集客力のある「有力チーム（選手）」の出場を確保しやすくなり、レースの魅力が高まります。

UCI公認レースのグレードは大きく分けて４つあり、上に行くほどよりハイレベルなチーム（選手）の招聘が可能となります。また、UCI公認レースに出場した選手は、順位に応じて付与されるUCIポイントを得ることで世界選手権やオリンピックなどの出場枠獲得にもつながります。

ツール・ド・九州は、UCIに登録された国内外の有力チームのみが参加可能な、UCIコンチネンタルサーキットアジアツアーのクラス１として開催します。



※サイクルロードレースには、１日（１レース）で完結する「ワンデーレース」と、２日（複数ステージ）以上にわたって開催される「ステージレース」があります。

「2023年、日本で開催される国際レースは８つ」



競技ディレクター　グラハム・ジョーンズ氏からのメッセージ

本年10月に第１回大会を控え、地域の皆さまのご理解や、自治体および経済界をはじめとする関係各所の方々のご努力によって、ツール・ド・九州の開催準備が進展していることを嬉しく思います。プロのロードレースを通じて、九州の美しさが世界に伝わるとともに、サイクリングをはじめとするアウトドア活動の促進や、健康に対する意識が高まることを願います。



「ツール・ド・九州」の見どころ、コース紹介

大会は、クリテリウム（市街地で行われる周回コースのレース）とロードレース（公道を使用し約120～150kmを走るレース）で行われます。

第１回大会では、国内外18チーム108名の選手の参加のもと、北九州市でのクリテリウムと、福岡・熊本・大分の各県内でのロードレースを実施します。

■小倉城クリテリウム　10月６日（金）



小倉城周辺の小周回コース。
市街地開催により多くの方に観戦していただき、ステージレース前の気運醸成を図ります。１周1.7kmのコースを25周して順位を競います。〈約45km〉



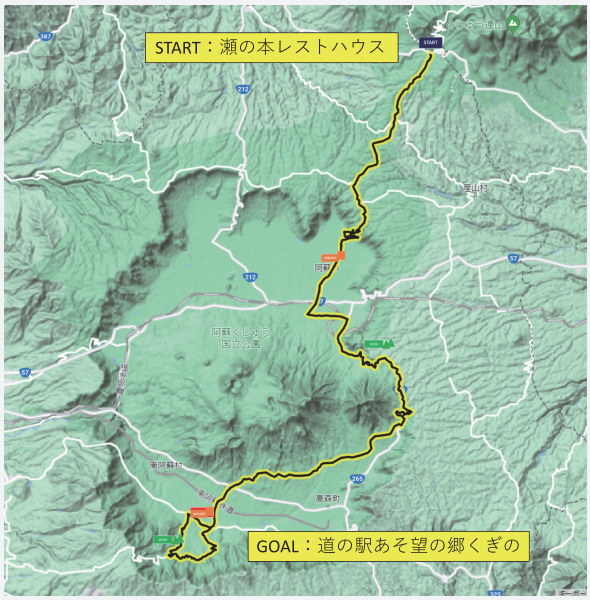
■福岡ステージ　10月７日（土）



複数の市町村を通り、県を広く縦断する本格的な長距離ラインレース。
競輪発祥の地・北九州メディアドームをスタートし、豪雨災害の被災地をつなぎながら、世界遺産の街大牟田に抜けていくアップダウンに富んだコース。〈約145km〉



■熊本阿蘇ステージ　10月８日（日）



阿蘇五岳等、九州の大自然の魅力を発信するレース。北部から南阿蘇に抜け、フィニッシュ近くのアップダウンのある周回コースでは、雄大な景色の中、激しい競り合いが期待されます。〈約106km〉



■大分ステージ　10月９日（月・祝）



オートポリスをスタートし、サーキット内を周回後、標高差700mを下り、日田市中心部の周回コースでの高速スプリントが見どころのコース。〈約135km〉



今村駿介選手（チームブリヂストンサイクリング所属）からのメッセージ

九州初の本格的ステージレース「マイナビ ツール・ド・九州2023」の開催、今からとても楽しみです。まだ気が早いかもしれませんが、福岡・熊本・大分を巡る４日間のコースは、バラエティーに富んだコース設定で、スタートラインに立つ自分の姿を想像するだけで「ワクワク」してきます。中でも地元（うきは市）を通過する福岡ステージは、積極的にレースをリードし活躍する姿をお見せしたいと思います。沿道の皆さまや世界中のサイクルファンの方々に、ロードレースの魅力と九州の景観を伝えられるよう全力で走り抜けたいです。



「ツール・ド・九州」による地域活性化の取り組み

■ディスカバー九州 -CYCLING ISLAND KYUSHU-

●背景

九州・沖縄・山口各県は経済界と一体となってサイクルツーリズムを推進しており、2021年５月、九州地方知事会において、「九州・山口広域推奨ルート」を国が指定する「ナショナルサイクルルート」にすることを目指す決議がなされました。

現在、九州・沖縄・山口各県ではナショナルサイクルルートの指定要件を満たすための受入環境や走行環境の整備を進めています。それらを背景として、サイクリング旅行商品を造成・販売し、九州・沖縄・山口地域におけるサイクルツーリズムのブランド構築および国内外からの継続的な誘客促進により地域経済を隆起・発展させることなどを目的とした取り組みが「ディスカバー九州-CYCLING ISLAND KYUSHU-」です。

●ディスカバー九州商品

安全の確保を第一に、地域の魅力を伝えるサイクリングガイドが同行し、距離や旅行期間に応じてサポートカーも用意します。初心者でも安心して楽しめるコースから、中・上級者も満足できるコースまでバラエティーに富んだラインナップとなっています。

サイクリング旅行商品による
地域の魅力発信と集客

（国内市場）
- 公式サイトにおけるコースの魅力発信、予約受付・販売
  https://cyclingisland-kyushu.com/index.html
- OTAサイトの活用
  日本最大級のアクティビティ・遊び・体験・レジャー・日帰り旅行の予約サイト「アクティビティジャパン」「ベルトラ」
- 航空会社のダイナミックパッケージ商品のオプションプランとして集客

（海外市場）
- 現地のサイクリング系インフルエンサーからの情報発信を通じた募集・販売
- 現地の旅行会社による販売

●実施概要

対象市場	国内	海外	
		アジア（主に台湾・香港・タイ）	欧米豪
主なターゲット	ビギナー～中級者層	中級者以上	中級者以上
集客目標（2023年度）	１８０人	１２０人	３０人
滞在期間	日帰り	６～８日	１２～１４日
走行距離（1日）	５～３０km	３０～５０km	３０～７０km
商品イメージ	地域の資源（自然・歴史・文化）やイベントを活用したテーマ型サイクリングツアー（46コースを予定）	海外サイクリストがガイドする周遊型サイクリングツアー（5コース）	広域周遊を主とした高単価高付加価値型サイクリングツアー（自然・歴史・日本文化などテーマ性を重視）（5コース）
販売予定価格（※）	８，８００円（中心価格帯）	２５～３０万円	７２万円～

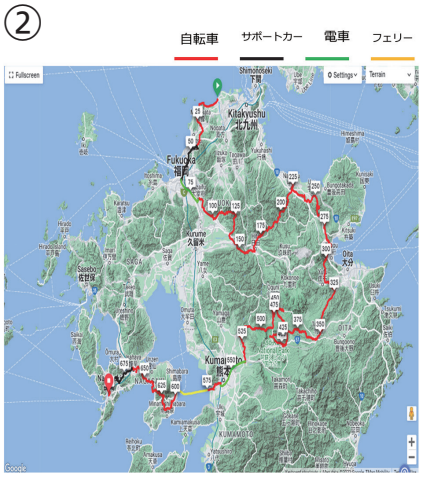
※販売予定価格：各コースの出発地まで、および解散後の費用（交通費、宿泊費等）は含まない

●海外市場向けコースの一例

①



②



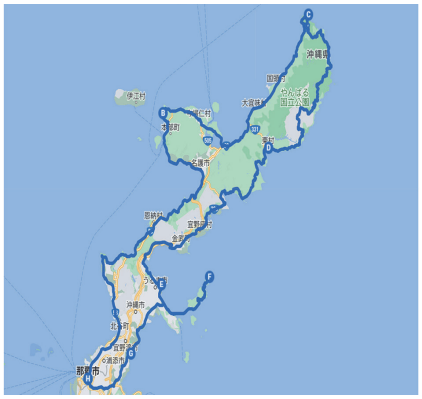
③



④



⑤



①桜をテーマとしたコース
11泊12日　720,000円～
②九州の豊かな自然コース
11泊12日　720,000円～
③島を巡る西九州コース
12泊13日　750,000円～
④南部九州コース
13泊14日　800,000円～
⑤沖縄1周コース
5泊6日　250,000円～

■「ツール・ド・九州」を通じて 高校生が考える九州の未来 ～locus（ローカス）プログラム～

本大会では、単なるサイクルレースの域にとどまらず、「地域を元気にする」を第一義に、地域に活力とさまざまな効果をもたらす未来志向の取り組みを発信してまいります。今回、協賛社である㈱マイナビのlocusプログラムを導入した連携事業として、“locus x ツール・ド・九州”を実施します。

●locusとは

高校生を対象に、地元企業から課題解決のヒントを得る課題探究型フィールドスタディ事業です。地元の企業を知る機会が少ない高校生に、地域企業と共に地域の活性化策を考えてもらうことによって、郷土への愛着と誇りを醸成する機会となり、将来的なUターン、人材確保につなげることを目的としています。



locus 授業風景

●「locus x ツール・ド・九州」とは

ツール・ド・九州を通じて高校生に地域・九州の未来像を考えてもらいます。

高校生が考える課題テーマ

Ⅰ．サイクルツーリズムを使って、海外からの観光客を増やすために、自分たちには何ができるか？
Ⅱ．福岡、熊本、大分それぞれで、皆が住みたいと思ってもらうために、自分たちには何ができるか？

このテーマをもとに、以下の流れで最終的な解決法を導き出します。

①事前学習：地域課題のインプット（動画学習、オンライン授業、リアル授業のいずれか）、取り組む課題の選択
②フィールドスタディ：企業の視点を学ぶ（企業との意見交換）
③事後学習：企業ディスカッションを通じた課題解決策のまとめ
④他の地域の高校生との意見交換
⑤大会体験：実際の大会を視察・体験する
⑥発表・報告：最終報告資料を発表

本プログラムへの参画校は福岡、熊本、大分3県で計14校、参加者約600名となっており、高校生への課題インプットが５月19日からスタートしています。

前述の２つのテーマが示す地域活性化のためにツール・ド・九州が果たす役割や目的、地域を元気にする方法について、まずは高校生が自分たちなりに考え、企業との意見交換を通じて最終的な解決法を策定することで、地域活性やSDGsについて若い世代に“自分ごと”として捉えてもらう好機だといえます。

ツール・ド・九州を持続可能なものにしていくために、若い人たちを巻き込み、大会に興味を持ってもらい、自分たちが住んでいる九州に誇りを持ってもらう…、このことはまさにツール・ド・九州の基本方針“持続可能な九州の未来のために”に沿った具体的なアクションの一つとなっています。

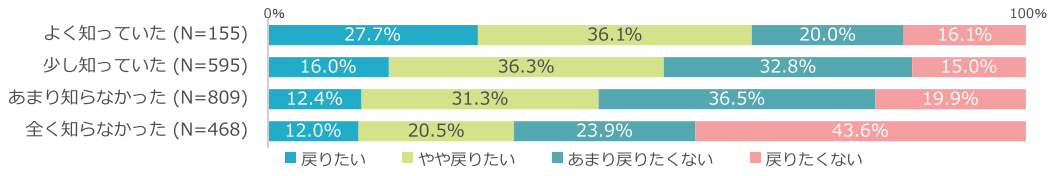
locus（ローカス）の目指すもの

高校卒業者全体の約8割※を占める進学者層は、
現状、就職活動時まで地元企業を知る機会があまりありません。

高校時代に地域企業の認知度を上げることで
地元企業への就職・転職を促進し、
将来的な雇用の増大、産業・経済の発展に寄与いたします。

進学者に対し、地元企業の認知度を上げて、将来の地域就職を促進
（locusを通して高校生・高校教員に早期ブランディングを）

出身市町村へのUターン希望　－高校時代までの地元企業の認知程度別－



（出典）　独立行政労働政策研究・研究機構「UIJターンの促進・支援と地方の活性化－若年期の地域移動に関する調査結果－」（2016年）
https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html　閲覧日：2022年6月14日

※大学・短大進学、専門学校進学など学校進学を全て含みます

新たな九州の「祭り」を目指して

世界的に有名なツール・ド・フランスは、開催地のフランスでは歴史ある「祭り」です。選手が通過する前には、コース上に数百台のキャラバン隊（仮装車両）が通り、沿道で選手を待つ間も、大会を楽しめる工夫が施され、1,000万人以上が観戦するといわれています。

ツール・ド・九州でも、サイクルロードレースの面白さが浸透し、地域に根付いた魅力あるイベントとして継続できるよう、工夫を凝らしてまいります。ツール・ド・フランスのように九州の「祭り」として歴史を刻んでいきたいと考えています。

■「くまモン」が応援隊長に就任！

大会を盛り上げる「マイナビ ツール・ド・九州2023応援隊」を設立し、応援隊長に、熊本県営業部長兼しあわせ部長「くまモン」が就任しました。



©2010熊本県くまモン

【くまモン応援隊長からのメッセージ】

マイナビ ツール・ド・九州2023応援隊長になったモン！な、なんと！今年の10月、ボクたちの九州に世界中からすごい自転車選手が集まるモン!みんなボクと一緒に応援するモン☆

最初のお仕事は、５月３日の博多どんたく港まつりパレードへの参加。「ブリヂストン吹奏楽団久留米」の演奏のもと、地元のプロ自転車競技チーム「VC FUKUOKA」などのパレード隊とともに行進し、大会を広くPRしてきました。

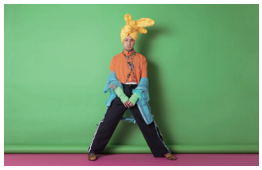
■公式ソング、アンバサダー決定！

大会の気運を高める公式テーマソング、アンバサダーも決定しました。

●【公式テーマソング】

「DREAM」マハラージャン（アーティスト）

マハラージャン氏が大会のためにオリジナルで書き下ろした楽曲「DREAM」。「夢をリレーのようにつないでいく」という曲のテーマは、今後、ツール・ド・九州を九州全域で開催していこうという大会としての夢とつながります。



【メッセージ】

夢を追いかけていくと、今いる場所がかつての憧れの場所になって、気がつけば自分が誰かの憧れになっていたりリレーのように自分の夢が誰かの夢につながっていく実感があります。
サイクルロードレースも、いろんな人の想いや夢が詰まっていて、きっとリレーのように夢をつなぐと思います。そんな想いを込めました。美しい九州の風景の中でどんな大会になるのか今から楽しみです。

●【大会アンバサダー】中野浩一 氏

世界自転車選手権10連覇を達成するなど「世界の中野」「ミスター競輪」と呼ばれた中野浩一氏が、大会アンバサダーに就任しました。



【メッセージ】

福岡県、熊本県、大分県を巡る第１回大会のスタート地点は、競輪発祥の地「北九州メディアドーム」です。コースの一部が現役時代の練習地だったことにも深い感慨があります。世界トップクラスの熱戦が繰り広げられる九州に、多くの観光客やサイクリストが訪れますよう、熱い走りを、美しい九州を、世界に発信していきます！

マイナビ ツール・ド・九州2023開催に伴う交通規制が発生いたします。ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

詳細については大会HP、交通規制告知チラシ、テレビCM等でお知らせする予定です。沿道で選手たちに熱い応援をお願いします！

大会HP

【地域共創部　村山】

協力：（一社）ツール・ド・九州、（一社）九州観光機構

特集

農業の担い手不足の解消と農的関係人口の拡大を目指して
～副業等を活用した地域企業による農業労働力支援の取り組みを推進～

農業の担い手不足が社会的な課題となる中、本会は、農林中央金庫、全国農業協同組合連合会福岡県本部（JA全農ふくれん）との連携・協働により、マッチングアプリを活用した副業またはボランティアでの農業労働力支援等の取り組みを推進し生産者を支援します。

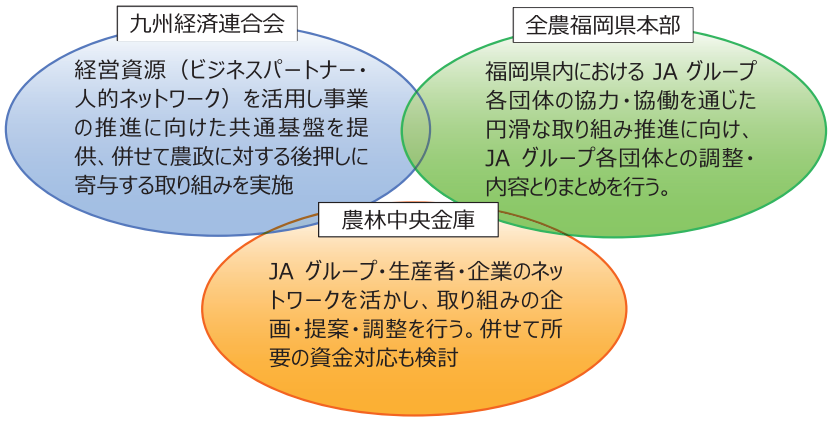
本稿では、経済団体（九経連）と農業団体（農林中央金庫）の両視点から、本取り組みのポイントをご紹介いたします。

「農業の活性化に関する三者連携協定」の締結

農林業センサス（農林水産省）によると、当地域における農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者（個人経営体）」は2020年時点で約25万４千人（60歳以上が全体の約８割）となり、20年前と比べて半減するなど深刻な担い手不足の状況となっています。

こうした中、本会は2022年２月、農林中央金庫、JA全農ふくれんと、**「農業の活性化に関する三者連携協定」**を締結。三者は、それぞれが持つノウハウやネットワークを持ち寄り活用することで、担い手不足の解消や地産地消の推進など農業に係る社会課題の解決を図り、「魅力ある九州の農業」の実現を目指していくこととしました。

●連携のイメージ



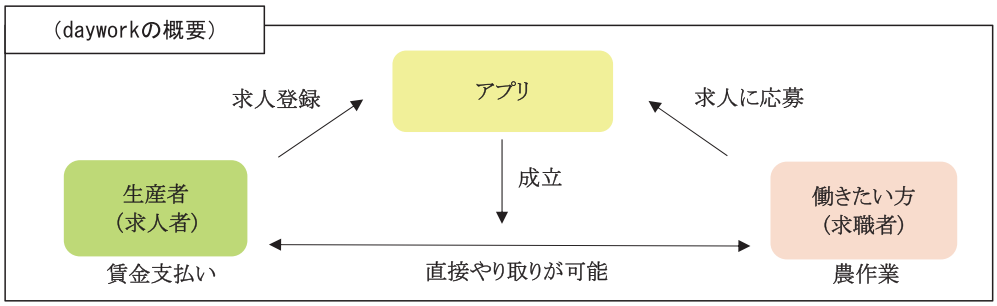
マッチングアプリを活用した副業・ボランティアでの農業労働力の支援

特に2023年度からは、農業の担い手不足を解消し将来の就農者増への足掛かりとして、マッチングアプリを活用した農業労働力支援に取り組むこととしました。これは、会員企業という本会最大のリソースを中心に農業労働力不足の解消を下支えする「地域企業で地域農業を支える取り組み」と「参加企業の労務管理の効率化」を両立する利便性の高いマッチングアプリ通じ、生産者に副業またはボランティアで企業等の人材を派遣する取り組みです。

マッチングアプリは、１日単位で働き手を募集でき、既に全国で多くのJAの生産者に利用されている**「daywork（デイワーク）」**を活用します。生産者はスマホなどを介して必要な人員を募集でき、働きたい人は、空いた日や時間のみ働くことができるため、繁忙期などの人手不足

の解消を図ることができます。特に、今回のdaywork活用に際しては、副業での利用に加えて、ボランティアで働くこともできるようカスタマイズしています。

これまでのアプリ試行の結果、一定の実効性を確認できたことから、本会では会員約1,000社・団体にアプリを紹介し、副業やボランティアでの利用を呼びかけ、農林中央金庫、JA全農ふくれんでは、福岡県内のJAや生産者へアプリの周知を勧めて利用率向上を図り、人手不足に悩む生産者を支援します。皆さまの積極的なご参加、ご協力をお願いします！



企業研修への農業研修導入による農的関係人口の拡大

加えて、農業体験者をさらに増やし、農業への関心を高めてもらうため、企業の各種研修への農業研修導入も支援することとしました。その第一弾として、会員企業の西部電気工業㈱（福岡市）は、今年４月10・11日、新入社員教育の一環で初めて農業研修を実施しました。

新入社員21名が、福岡県内５カ所の農業法人で収穫や選果などの農作業に従事。農作業を通じてチームビルディングや、同期社員や農家とのコミュニケーションを図り相互理解を深め、助け合うことの大切さ、食と農の大切さを学びました。参加者からは「作物を作るための準備がすごく大変で、人手も必要と分かり、とても勉強になった」などの声も聞かれ、異業種を知る良い機会になっています。


ほうれん草の収穫作業


イチゴの選果作業

今後の取り組み等

マッチングアプリを活用した農業労働力支援の取り組みは、まず福岡県内で始め、九州・沖縄・山口各県への拡大を目指します。また、農業研修についても、企業のニーズに合わせて各種研修等への導入を図っていきます。

まずは農村での短期の仕事や農作業を体験することで、農業への関心を高め、企業からの援農者を呼び込み、農的関係人口の拡大を目指します。そして、将来的に参加者の中から新規就農者が出てくることを期待します。

【地域共創部　中山】

次ページにて農林中央金庫の取り組みをご紹介します

農業生産現場における労働力支援の取り組みについて
～JAグループ・農林中央金庫から見た効果・課題～

農林中央金庫　福岡支店

「農業の活性化に関する三者連携協定」の中で、農業の課題解決・活性化に向け、さまざまな切り口で取り組み行っています。特に注力している「労働力支援」では、少しでも多くの企業・多くの方々に農業との接点を持っていただけるよう仕組み作りを進めています。

●農林中央金庫が連携協定に参画した経緯

就業者の減少や高齢化等による農業現場での労働力不足は、農家の廃業・離農、耕作放棄の増加へとつながり、地域農業の衰退、さらには地域経済・社会の弱体化といったより大きな課題になってきています。農業の労働力不足は、地域農業や農業者だけではなく、地域全体の課題といえ、地域・農業者と共にあるJAグループ・農林中央金庫としても、その課題への対応方法を諸々模索し続けているところです。

こうした中、「九州地域における農業の慢性的な労働力不足の改善・農的関係人口の増加を試みたい」との思いを共にした九州経済連合会、JA全農ふくれん、農林中央金庫にて、「地元の企業等で地元の農業を支える仕組み」を作るべく、2022年２月に三者で連携協定を締結するに至りました。

●三者連携における「労働力支援」の効果と目指す姿について

「地元の企業等で地元の農業を支える仕組み」をコンセプトとし、地元の企業や大学と連携し、「副業」「ボランティア」「企業農業研修」といった取り組みを進めています。

農業は条件次第ではあるものの、「リフレッシュ効果」や複数人で同じ作業を行うことによる「チームビルディング」など、さまざまな効果・効能があることが各種アンケート・データ等によって確認されています。

また、農業を体験することで、これまで無意識に購入していた農作物に対して捉え方や購買行動が変わるなど、「食育」の側面での効果も期待できます。

このように農業は非常にたくさんの魅力が詰まった産業であるものの、なかなか触れる機会が多くありません。本取り組みは、「副業」「ボランティア」「企業農業研修」等、さまざまな切り口で農業に触れる機会を皆さまに提供しつつ、他方で農業の喫緊の課題である労働力不足に役立つwin-winの取り組みを目指しています。

これまで実際に副業・ボランティアで農業を行った方々にアンケート調査を行った結果、多くの方々が「またやりたい」「(きっかったけど)楽しかった」と回答。きっかけさえあれば関心を持つ方が想像以上に多いことがわかりました。今後、連携協定での取り組みを通じ、一層農業に触れるハードルが下がり、これまで農業に関わりがなかった方々が農業に関心を持つきっかけとなることを期待しています。

また、企業農業研修においては「コミュニケーションの重要性」や「仕事に対する向き合い方」等全ての仕事に通ずる内容を学ぶことができる場になります。今回は新人研修の一環でしたが、階層別研修や管理職研修等でも一定の効果が期待できるのではないかと考えています。

●今後の取り組み等

これまでの取り組みを活性化させるとともに、「アグリワーケーション」「アグリヒーリング」等の切り口も模索していきます。道半ばの取り組みですが、九州の農業を支える仕組みになるよう、できる限り多くの企業にご協力いただけることを願っております。

お知らせ

新たな役員体制がスタート

６月６日開催の第63回定時総会ならびに第174回理事会において、以下のとおり会長、副会長、理事、監事が選任されました（任期：2025年６月、第65回定時総会開催日まで）。

○：新任（敬称略）

役　職	氏　名	所属・役職（７月１日現在）	委員会等での役職
会　長	倉富　純男	西日本鉄道㈱　会長	
副会長	柴戸　隆成	㈱福岡銀行　会長	第一会長職務代行
同	甲斐　隆博	㈱肥後銀行　会長	第二会長職務代行、熊本地域委員長
同	上村　基宏	㈱鹿児島銀行　会長	鹿児島地域委員長
同	森　拓二郎	㈱十八親和銀行　会長	交通委員長、長崎地域委員長
同	瓜生　道明	九州電力㈱　会長	資源エネルギー・環境委員長
同	大嶺　　満	沖縄電力㈱　会長	沖縄連携フォーラム 議長
同	喜多村　円	TOTO㈱　会長	地域共創委員会 副委員長、北九州地域委員長※
同	唐池　恒二	九州旅客鉄道㈱　相談役	地域共創委員会 副委員長
同	後藤富一郎	㈱大分銀行　頭取	大分地域委員長
同	坂井　秀明	㈱佐賀銀行　頭取	佐賀地域委員長
同	永田　　理	トヨタ自動車九州㈱　社長	北九州地域委員長※
同	神田　一成	㈱山口銀行　会長	関門連携委員長、山口地域委員長
同	○杉田　浩二	㈱宮崎銀行　頭取	宮崎地域委員長
理事 名誉会長	麻生　　泰	麻生セメント㈱　会長	
理　事	池内比呂子	㈱テノ.ホールディングス　社長	地域共創委員長
同	米良　充典	米良電機産業㈱　会長	産業振興・デジタル推進委員会 副委員長
同	石坂　淳子	㈱ひよ子　社長	
同	大浦　敬子	㈱おとなの学校　代表取締役	
同	石橋　達朗	国立大学法人 九州大学　総長	産学連携懇談会 議長
同	村上　英之	㈱西日本シティ銀行　頭取	
同	小笠原　浩	㈱安川電機　会長	産業振興・デジタル推進委員会 共同委員長
同	○佐藤清一郎	㈱筑邦銀行　頭取	筑後地域委員長
同	○中田　昌宏	日本製鉄㈱　常務執行役員九州製鉄所長	北九州地域委員長※
同	○藤井　一郎	㈱九電工　会長	
同	○右田　聖秀	西日本電信電話㈱　執行役員九州支店長	産業振興・デジタル推進委員会 共同委員長
同	○依田　直久	㈱ブリヂストン　九州・山口地区統括部門長	
監　事	酒見　俊夫	西部ガスホールディングス㈱　会長	
同	根本　浩二	㈱ＮＴＴドコモ　執行役員九州支社長	
専務理事	○堀江　広重		
常務理事	○田中　　徹		

※ 北九州地域委員長は１年交代（2023年度は中田昌宏理事）

会員紹介 Member Introduction

UBE三菱セメント
MUCC Mitsubishi UBE Cement Corporation



九州支店長
佐藤　寛

2022年４月、私たちUBE三菱セメント株式会社は、UBE株式会社と三菱マテリアル株式会社の両社セメント事業、および宇部三菱セメント株式会社が統合し発足しました。

主にセメント関連製品の製造販売を営んでおり、福岡県内にセメント主原料となる石灰石鉱山と製品販売の供給源となるセメント製造拠点２工場を保有し、私ども九州支店は九州全域、沖縄を中心にセメント、固化材の販売を行っています。今後も社会インフラを支え続け、一人ひとりの安全な暮らしを守り抜くため、地域社会に根付いた活動を続けてまいります。

法　人　名	**UBE三菱セメント株式会社**
設　　立	2022年４月１日
代　表　者	代表取締役社長　小山　誠
事業内容	国内・海外のセメント事業・および生コンクリート事業、石灰石資源事業、環境エネルギー関連事業、建材事業その他関連事業等
従業員数	【単体】1,943名【連結】8,070名（2023年３月末現在）
本社所在地	〒100-8521　東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング
電話番号	03-6275-0330
ホームページ	https://www.mu-cc.com/



九州工場（福岡県京都郡苅田町）

北九州モノレール
街にあなたに豊かな時間と空間を



代表取締役社長
柴田　卓典

北九州モノレールは、北九州市の中心部でビジネス・商業エリアである小倉駅と、住居エリアである小倉南区の企救丘駅を結ぶ8.8km13駅の路線です。

「安全」「正確」「快適」をモットーに、住みたい沿線・乗りたいモノレールを目指し、お客さまに安心してご利用いただける、にぎわい創出や地域活性化に寄与できる公共交通機関として、学校・団体・企業さまとの連携および情報発信の強化を図り、北九州市のシンボル的役割を果たせるよう努めてまいります。

法　人　名	**北九州高速鉄道株式会社**
設　　立	1976年７月31日
代　表　者	代表取締役社長　柴田　卓典
事業内容	軌道法による一般運輸業（モノレール） 広告宣伝業
従業員数	153名（2023年４月１日現在）
所　在　地	〒802-0981　北九州市小倉南区企救丘2-13-1
電話番号	093-961-0101
ホームページ	https://www.kitakyushu-monorail.co.jp



会員紹介 Member Introduction

株式会社ビッグ フィッシング



代表取締役
向井 純一

奄美大島は、鹿児島本土と沖縄本島のほぼ中間の洋上に位置しています。面積は沖縄本島の８割ほどで、2021年に世界自然遺産に登録され注目を集めています。

弊社は、奄美大島でたくさんのお客様に支えられて観光業を中心に事業展開してきましたが、近年は不動産仲介業・スポーツジム・飲食テイクアウト事業等、アフターコロナを見据えた事業も展開しています。地域貢献のためにも引き続き観光事業を成長させつつ、時代の変化に対応した新規事業を立ち上げて頑張る社員が報われる会社を作っていきます。

法　人　名	**株式会社ビッグ フィッシング**
設　　立	1979年４月18日
代　表　者	代表取締役　向井 純一
事業内容	ホテル業（客室83室）、不動産賃貸業 別会社にて、不動産仲介業・レンタカー・空港前パーキング・ウィークリーマンション・貸別荘を営んでいます。
従業員数	50名（グループ合計95名　2023年５月30日現在）
所　在　地	〒894-0036　鹿児島県奄美市名瀬長浜町27-1
電話番号	0997-53-1321
ホームページ	https://www.bigmarine.co.jp



ホテルビッグマリン奄美外観

NIHON SEKKEI



九州支社長
鳥越 啓史

「ひとを思い、自然を敬い、未来を想う」

場所のもつ歴史や文化、自然を深く読み解き、たゆまぬ技術力向上と多彩な知見の総合を力として、私たちは時代を超えた未来価値創造を目指し、都市・建築デザインを実践しております。

九州支社では設立当初よりハウステンボスやアクロス福岡など「自然と建築の共存」を追求してまいりました。今後も組織設計事務所としての知見と技術力に「九州らしさ」を加えた、生き生きとした未来を皆様とともに創造してまいります。

法　人　名	**株式会社日本設計**
設　　立	1967年９月１日
代　表　者	代表取締役社長　篠﨑　淳
事業内容	・建築、造園、土木およびこれらに関する設備、構造、インテリア等の設計 ・都市・地域計画・都市再開発事業計画 ・上記に関連もしくは付随する一切の業務
従業員数	約1,000名
本社所在地	〒105-6334　東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー34階
電話番号	050-3139-7100
ホームページ	https://www.nihonsekkei.co.jp



四半世紀を経て森となったアクロス福岡（福岡市）

地域だより

山口 YAMAGUCHI

山口県の工業用水を利用しませんか

山口県の工業用水には、以下の三つの特徴があり、多くの事業者に利用いただいている。

一つ目は、日本一の給水能力。約173万トン/日の給水能力で、企業の生産活動に必要な水をたっぷり供給できる。

二つ目は、良質な原水。環境省の「生活環境の保全に関する環境基準」で上水道並みの水質となるAA～B類型に指定されており、冷却、洗浄などの産業用途のほか、雑用水や公園の環境・修景用水など幅広い用途で利用できる。

三つ目は、価格の安さ。急峻な地形を利用して送水費用などを抑制できるため、平均単価は11.69円/㎥で、全国平均21.03円/㎥の約半額となっている。



これらに加え、「給水に必要な引込管の設置」や「工業用水の新規受水に伴う受水設備の設置」、「高レベルな水質を求める企業が行う浄水設備の新規設置」といった初期投資に対しても支援制度を設けており、事業者の利用をサポートしている。

下関エリアから岩国エリアまで、瀬戸内地域を幅広くカバーしている山口県の工業用水についてお知りになりたい方、ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせいただきたい。

《問い合わせ先》
山口県企業局総務課　TEL：083-933-4015

福岡 FUKUOKA

水素拠点構築に向けた産学官推進組織を発足～グリーン水素で成長する地域を目指して～

水素は、2050年のカーボンニュートラルの達成に必要不可欠なエネルギー源であり、近年、強靭な大規模サプライチェーンの構築と社会実装の加速化が求められている。

現在、国では、水素の利活用拠点をこの先10年間で８カ所程度整備するとしており、これらの拠点を集中的に支援する制度が予算化される見込みである。

この支援制度を活用して、福岡県は水素需給のポテンシャルが高い「北九州市響灘臨海部」を中心とした拠点の整備を目指し、2023年５月に、福岡県、北九州市、響灘臨海部で水素の利活用を目指す企業等で構成する『福岡県水素拠点化推進協議会』を発足した。



今後、海外から輸入するグリーン水素、余剰再生可能エネルギーを活用し県内で製造するグリーン水素、製造工程で発生する副生水素の３つの水素を北九州市響灘臨海部から供給するとともに、県内各地での水素の利活用を推進し、将来的な九州・山口各地域との連携も視野に、北部九州における水素大規模拠点の構築に取り組んでいく。

《問い合わせ先》
福岡県自動車・水素産業振興課　TEL：092-643-3448

佐賀 SAGA

新時代の感動を佐賀で。SAGAサンライズパークグランドオープン！

佐賀の未来を見据え、新たな価値を創造するエリア「SAGAサンライズパーク（佐賀市日の出）」が５月13日にグランドオープンした。新時代のエンターテインメントアリーナ「SAGAアリーナ」やカフェ・ショップが並ぶ「パークテラス」、３つのコースでランニングを楽しめる「ランニングループ」などが新たに加わり、特別な時だけでなく、日常のスポーツや食事、ショッピングなどそれぞれのスタイルで楽しめる心地よい空間に生まれ変わった。

SAGAアリーナの１階から４階までの観客席は、最大勾配35度のすり鉢状で、どこからでも見やすく、これまでにない臨場感を味わうことができる。また、全ての観客席にドリンクホルダーを設置し、ゆっくりくつろげるファミリー・グループ席やベビーカーも入るボックス席、車イス席等、国内最多の豊富なバリエーションを用意。さらに、３階のプレミアムフロアにはラウンジのほか、さまざまな種類のプレミアムルームがあり、上質な空間で大切な方々と一緒に食事をしながら至福のひとときを過ごすこともできる。



夢や感動がうまれるSAGAアリーナをはじめとするSAGAサンライズパーク。多くの方にお立ち寄りいただきたい。

《問い合わせ先》
佐賀県SAGAサンライズパーク整備推進課
TEL：0952-25-7482

長崎 NAGASAKI

「ながさきピース文化祭2025」のスペシャル アンバサダーにさだまさし氏が就任！

2025年９月14日から11月30日まで長崎県で開催される第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭のスペシャル アンバサダーに、本県出身のシンガー・ソングライター さだまさし氏が就任し、認定証と「スペシャル アンバSADA」の名刺が大石賢吾知事から贈呈された。あらゆる世代に知名度があり、県内外に向けた発信力を持つさだ氏とともに、本文化祭の認知度を高めていく。

また、昨年12月から今年１月にかけて一般公募した本文化祭の統一名称（愛称）は「ながさきピース文化祭2025」、キャッチフレーズは「文化をみんなに」に決定した。さらに、本文化祭の開会式を「アルカスSASEBO」（佐世保市）で、閉会式を「長崎ブリックホール」（長崎市）で開催することも決定し、県内各地の特色ある文化芸術活動と、歴史ある本県の地域の魅力を発信する機会になることが期待される。

今後は県内外へ情報発信を行うとともに、市町をはじめ関係団体と一体となって、２年後に迫る本文化祭の開催に向けて準備を進めていく。



《問い合わせ先》
長崎県文化振興・世界遺産課　TEL：095-895-2765　国民文化祭　長崎　検索

熊本 KUMAMOTO

南阿蘇鉄道の全線運転再開について

南阿蘇鉄道は、阿蘇五岳の南側に位置する路線である。車窓からは雄大な阿蘇五岳と南外輪山を望み、沿線には白川水源をはじめ、数多くの水源地が点在している。白川渓谷にアーチを描く第一白川橋梁は屈指のビューポイントであり、多くの観光客を楽しませてきた。

2016年４月に発生した熊本地震では、土砂の流入や、トンネル・鉄橋等の構造物に甚大な被害を受けた。しかし、全国の皆様の多大なご支援により、同年７月31日より高森駅～中松駅間の7.1kmの部分運転を再開、2018年３月から本格的な災害復旧工事に着手、2023年３月末に全ての工事が終了した。

今年７月15日にはいよいよ立野・高森間の全線復旧を果たす。全線運転再開と同時にJR肥後大津駅への乗り入れが開始予定であり、利便性の向上に大きく寄与するものと期待される。また、阿蘇五岳と白川をイメージした新型車両の導入や、玄関口となる立野駅と高森駅のリニューアル等、熊本地震からの創造的復興の総仕上げとして、さらに魅力を増した鉄道に生まれ変わる。南阿蘇鉄道がより多くの方々に愛され、地域が震災前を超える活気を取り戻せるよう取り組んでいく。皆様のご乗車を心よりお待ちしている。



《問い合わせ先》
熊本県交通政策課　TEL：096-333-2167　FAX：096-385-4815

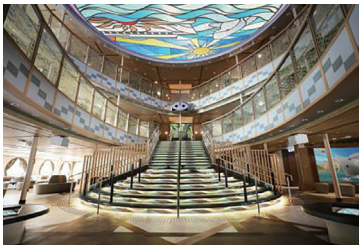
大分 OITA

環境に配慮した、日本初のLNG燃料新造フェリー「さんふらわあ」別府～大阪航路を運航中！

別府～大阪航路を日本初のLNG燃料フェリーが運航中だ。従来に比べ、硫黄酸化物（SOx）の排出量がほぼゼロとなるなど環境に配慮した設計となっており、今年1月の「くれない」に続き、４月に２号船「むらさき」が就航した。

新造船の特徴として、輸送力と利便性の向上が挙げられる。貨物輸送の面では、トラックの積載台数を大幅に増やし、ドライバーズルームも拡充された。旅客輸送の面では、客室は従来の雑魚寝形式の部屋はなくなり、全て個室・半個室仕様となった。３世代での利用も可能な和室と洋室をつなげて使える「コネクティングルーム」や、ペットと一緒に利用可能な「ウィズペットルーム」などさまざまな旅のニーズに応える。また、面積が２倍となった大浴場、席数が1.5倍となったレストラン、天井にプロジェクションマッピングの投影も可能な３層吹き抜けのアトリウムなど、開放的なパブリックスペースもあり、ゆとりある快適な船旅を楽しめる。

７月31日まで、誕生日前後３日間内に乗船した方に、船内での夕食（ビュッフェ）などをプレゼントする企画も実施中（詳細はフェリーさんふらわあHPにて）。夏休みのご旅行に、ぜひ新しくなったLNG燃料フェリー「さんふらわあ」をご利用いただきたい。



《問い合わせ先》
大分県交通政策課　TEL：097-506-2155
URL：https://www.ferry-sunflower.co.jp/　さんふらわあ　検索

宮崎 MIYAZAKI

G7宮崎農業大臣会合閉幕 ～みらいに みのりを みやざきから～

2000年のG8九州・沖縄サミット宮崎外相会合以来、23年ぶりとなるG7宮崎農業大臣会合が、４月22日・23日の両日、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターで開催された。

たくさんの県産花で彩られた宮崎ブーゲンビリア空港や会場で、小学生やボランティアによる歓迎セレモニーから始まった会合は、さまざまなプログラムが企画され、宮崎の「食」をはじめ、農業、文化、恵まれた自然などを世界に発信する大きな機会となった。ワーキングランチでは、河野俊嗣知事が大臣らに向けて本県農業の現状や、目指す農業の姿などを報告。歓迎レセプションでは、おいしさ日本一である宮崎牛をはじめ、完熟マンゴー、宮崎の焼酎などを存分に堪能していただき、宮崎が誇る食材で最高のおもてなしができた。参加者からもホスピタリティへの感謝と称賛の言葉をいただいた。

未来を担う学生の活躍もあった。県内から公募で選ばれた高校生20人が、本会合内で持続可能な社会の実現に向けた提言を英語で行い、世界に向けて発信。また、現地視察において宮崎農業高校の生徒がスマート農業の実演やハウス栽培などの実習成果報告を行ったほか、学生を対象とした米粉スイーツコンテストでグランプリに選ばれた作品がコーヒーブレイクで提供されるなど、次世代を担う学生らの取り組みについて高評価を得た。



最後に、G7農業大臣による共同声明とともに、G7農業大臣会合では初となる行動計画「宮崎アクション」が取りまとめられ、「宮崎」の名が同会合の歴史に刻まれることとなった。今回の開催実績を生かし、MICE誘致、県産品の輸出促進などにつなげていく。

《問い合わせ先》
宮崎県G7宮崎農業大臣会合推進室・宮崎県総合政策課
TEL：0985-26-7370・7607

鹿児島 KAGOSHIMA

いよいよ開催！「2023かごしま総文」

高校生による国内最大規模の芸術文化活動の祭典「全国高等学校総合文化祭」が、いよいよ７月29日から８月４日までの一週間、鹿児島県で開催される。「文化部のインターハイ」とも呼ばれる本大会は、都道府県を代表する高校生約２万人が全国から集まり、約10万人の観覧者が訪れるビッグイベントだ。

今大会では、県内８つの市町で演劇や合唱、吹奏楽、将棋など、22の部門大会が開催される。大会初日の総合開会式では、本県の高校生によるオリジナル劇や次年度開催県である岐阜県との交流ステージなど、趣向を凝らしたパフォーマンスが披露されるほか、県立博物館前から鶴丸城本丸跡に復元した御楼門前までの「かごしま文化ゾーン」約600メートルにわたり、マーチングバンドによる演奏に合わせたバトンやフラッグの演技など、華麗でダイナミックなパレードが実施され、大会の幕開けを彩る。

また、海外３カ国（ニュージーランド・ベトナム・韓国）から招いた高校生が、総合開会式でそれぞれの国を代表する伝統的な文化活動を披露するなど、国際交流にも取り組む。

総文祭は高校生が主体となって創り上げる大会で、県内各地の高校から集まった約100人の生徒実行委員を中心に、本大会が素晴らしいものになるよう、開催に向けて準備を進めてきた。文化系部活動に励む全国の高校生が一堂に会し、日頃の活動の成果を発揮する本大会を、ぜひ会場でご覧いただきたい。

第47回全国高等学校総合文化祭 2023かごしま総文 2023 KAGOSHIMA soubun

《問い合わせ先》
鹿児島県教育庁高校教育課全国高等学校総合文化祭推進室　TEL：099-286-5575

公式ホームページ

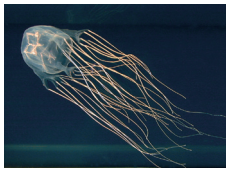
沖縄 OKINAWA

ハブクラゲ注意報発令中!!

猛毒を持つハブクラゲが沖縄県内のほぼ全域に生息し、本格的な海水浴シーズンを迎える７月から８月にかけて被害が急増する。

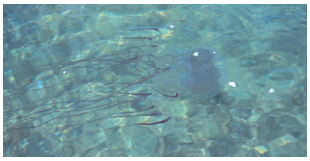
ハブクラゲのカサから伸びているひも状の触手には、「刺胞（毒針と毒液が入ったカプセル）」がたくさんあり、刺激されると毒針を発射して毒を注入する。被害者の多くは軽症であるが、刺されると激しく痛んでショックを起こすこともあり、過去には死亡事例もあるため、海水浴を行う際は事前の対策が重要である。

≪ハブクラゲに刺されないための対策≫
・クラゲネットの設置されたビーチを選び、ネットの中で泳ぐ。
・ラッシュガードや長袖のＴシャツ、スパッツなどを着用し、肌の露出を少なくする。
（※）クラゲネットが設置されたビーチの情報は、県のホームページで紹介している。



≪刺された時の応急処置≫
１．刺されたらすぐに海からあがる。刺された部分は絶対にこすらない。
２．応急処置として、刺胞のはたらきを止める作用のある酢（食酢）をたっぷりかける。
３．触手をそっと取り除く。
４．痛いときは氷や冷水で冷やす。
５．速やかに医療機関へ受診する。
（※）ハブクラゲの刺胞の発射を止める酢（食酢）による応急処置だが、カツオノエボシなどの海の危険生物に使用すると、逆効果になることもあるため要注意。

沖縄県
衛生薬務課HP



カサが半透明なため見つけにくいハブクラゲ

新入会員情報（3～5月）

有澤建設株式会社

代表取締役　木下　英資

福岡市博多区博多駅南4丁目4-12
TEL：092-433-1811　従業員数：47名
事業内容：総合建設業

SAPジャパン株式会社

代表取締役社長　鈴木　洋史

東京都千代田区大手町1丁目2-1
TEL：03-6737-3000　従業員数：1,651名
事業内容：エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェアにおけるマーケットリーダーとして、あらゆる業種におけるあらゆる規模の企業を支援

㈱オーレック

代表取締役社長　今村　健二

福岡県八女郡広川町日吉548-22
TEL：0943-32-5002　従業員数：280名
事業内容：農業機械製造業

大石建設株式会社

代表取締役　大石　幸嗣

福岡県久留米市野中町147-1
TEL：0942-45-0014　従業員数：20名
事業内容：建設業

亀の井バス株式会社

代表取締役社長　川下英次郎

大分県別府市大字鶴見3825-1
TEL：0977-23-5179　従業員数：168名
事業内容：バス事業

㈱ギフトパッド

代表取締役　園田　幸央

大阪市西区南堀江3丁目9-13
TEL：06-6537-7562
事業内容：企業・自治体を中心に、独自開発したプラットフォームでDX化を支援するソリューションサービス事業

㈱ザイナス

代表取締役社長　江藤　稔明

大分市金池南1丁目5-1
TEL：097-547-8639　従業員数：146名
事業内容：システム開発、IT先端事業（DX、IoT、産学官連携による共同研究開発）、教育事業（学校向けICT教育、社会人向けイノベーション教育）等

㈱G.R.H ホールディングス

代表取締役会長　岡村　徳之

福岡県久留米市日吉町12-35
TEL：0942-39-4800　従業員数：735名
事業内容：ビジネスホテル経営、ホテル事業コンサルティング、不動産開発・賃貸借および仲介業、駐車場経営、人工温泉装置販売、テニススクール経営 等

SocioFuture株式会社

代表取締役 社長執行役員COO　菅原　彰彦
執行役員 兼 ソリューション企画ユニット長　奥村　基昭

東京都港区浜松町1丁目30-5
TEL：03-5405-3100　従業員数：3,359名
事業内容：ATM関連サービス、コールセンターサービス、事務効率化サービス、健康サービス、システム開発

医療法人 相生会

理事長　入江　伸
福岡市東区香椎照葉3丁目5-1
TEL：092-662-3551　職員数：2,500名

金隈病院 院長　田中　洋輔
福岡市博多区金の隈3丁目24-16
TEL：092-504-0097
事業内容：病院、診療所、介護老人保健施設および介護医療院の経営

タイトレック株式会社

代表取締役社長　山口　孝人
福岡市南区那の川1丁目11-32
TEL：092-525-9757　従業員数：30名
事業内容：測量、ITアプリケーション開発・販売、建設施工計画立案およびコンサルティング、３次元モデリングデータ作成、3次元モデル作成、無人航空機操縦教育、建設施工計画関連教育 等

㈱種商

代表取締役　諸冨　和馬
佐賀県鳥栖市藤木町若桜3-5
TEL：0942-83-1311　従業員数：60名
事業内容：食品製造、雑穀ブレンド商品製造、健康食品製造、穀物卸、米卸

津福工業株式会社

代表取締役社長　津福　一宏
福岡県久留米市梅満町1202
TEL：0942-53-0120　従業員数：27名
事業内容：空調設備および空調機器の設計、施工、メンテナンス

半田建設株式会社

代表取締役　半田　利通
福岡県久留米市日ノ出町100番地
TEL：0942-34-4132　従業員数：36名
事業内容：総合建設業・施工管理業

㈱丸信

代表取締役社長　平木　洋二
福岡県久留米市山川市ノ上町7-20
TEL：0942-45-2766　従業員数：470名
事業内容：包装資材販売、シール印刷加工、紙器印刷加工、その他商業印刷

明徳研究会

代表　永野　芳宣
福岡市中央区渡辺通1丁目1-2
職員数：3名
事業内容：社会教育学習塾

YKK AP株式会社

代表取締役社長　魚津　彰
執行役員　粟津　康博
東京都千代田区神田和泉町1番地
TEL：03-3864-2200　従業員数：16,788名
福岡市博多区博多駅中央街8-1
TEL：092-436-4522
事業内容：住宅用・ビル用商品の設計、製造、施工および販売

＼会員募集／

九経連では、ともに事業活動にご参画いただける法人・団体のご入会を随時受け付けております。会員様からのご紹介をお待ちしております。

お問い合わせ先　**総務国際部　TEL：092-761-4261**

春の叙勲・褒章受章者

令和５年春の叙勲・褒章において、本会会員より下記の方々が受章されました。
心よりお慶び申し上げます。

（種類順、敬称略）

叙勲受章者

旭日大綬章
古賀　信行　　野村ホールディングス㈱　名誉顧問

旭日重光章
二宮　雅也　　SOMPOホールディングス㈱　特別顧問

旭日中綬章
大塚　岩男　　㈱伊予銀行　取締役会長
辻　　範明　　㈱長谷エコーポレーション　取締役会長

旭日小綬章
佐藤　政治　　佐藤食品㈱　会長
玉城　義昭　　㈱沖縄銀行　代表取締役会長

褒章受章者

黄綬褒章
藤本　祐二　　㈱ARIAKE　代表取締役



新着情報メールサービス登録のご案内

本会では、ホームページに掲載された最新情報を
いち早くお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひご登録ください！

メールアドレス登録方法　　※九経連HP登録画面より

STEP1



このページ下部にある登録メールアドレス入力フォームにアドレスを入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。

STEP2



入力したメールアドレス宛に登録完了メールが届きます。
届かない場合は、メールアドレスを確認し、再度登録してください。

STEP3



登録完了メールが届いて以降、九経連の新着情報のお知らせメールを受け取ることができます。

STEP4



受信するメールアドレスの変更や、新着情報のお知らせを停止したい場合は、メール内にある各種手続きのリンクより行ってください。

登録は
こちらから

＼ 四季報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。 ／

九経連ホームページ　https://www.kyukeiren.or.jp　／　九経連メールアドレス　info@kyukeiren.or.jp

次号（秋号）は10月１日発行予定です。

広告



マイナビ TOUR de KYUSHU 2023

UCI アジアツアー クラス 1

10/6 Fri 小倉城クリテリウム KOKURA CASTLE CRITERIUM



小倉　約 45km

市街地で多くの観衆のなか開催される、小倉城周辺の小周回コース。

10/7 Sat 福　岡 FUKUOKA



北九州 - 大牟田 約 145km

北九州から大牟田まで、県を縦断する本格的な長距離ラインレース。

10/8 Sun 熊本阿蘇 KUMAMOTO ASO



南小国 - 南阿蘇 約 106km

阿蘇山や大草原など、雄大な景色の中、激しい競り合いが期待される。

10/9 Mon 大　分 OITA



日田 - 日田 約 135km

日田市中心部の周回コースでの高速スプリントが見どころのコース。

編集・発行　一般社団法人 九州経済連合会
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル共創館6階　TEL（092）761-4261（代表）　FAX（092）724-2102　　印刷　ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社